



今月の「ドメ&ユウガ」第4号をお届けします。この春、しおどめグループに新たな仲間としてしおどめなかよし保育園が誕生しました。地域の子どもたちが安心して過ごせる新しい園舎が完成し、いよいよ開園に向けた準備が本格的に進んでいます。新しい園が生まれるということは、単に建物が増えるということではありません。そこに集う子どもたち、保護者、職員、地域の方々との新しい物語が始まるということです。今号では、完成したばかりの園舎の様子や開園準備の様子をお届けします。

TOPIC 01

社会福祉法人雄雅会「しおどめなかよし保育園」園舎完成！

令和8年4月の開園を予定しているしおどめなかよし保育園の園舎が、このたび無事に完成しました。明るい自然光が差し込む保育室、子どもたちがのびのびと身体を動かせるスペース、安全性と使いやすさを考えて設計された設備など、これから始まる園生活を支える環境が整いました。完成した園舎を前にすると、ここで子どもたちが笑い、遊び、学びながら成長していく姿が自然と思い浮かびます。現在は、開園に向けて備品の準備や環境づくりなど、職員による準備が進められています。子どもたちを迎えるその日まで、丁寧に準備を整えていきます。



陽射しの降り注ぐ4・5歳児室



天然芝と土のコントラストが美しい園庭



駐輪場完備



広い玄関で混雑緩和



送迎に便利な駐車スペース

園舎完成後、現場では開園に向けた準備が一気に進んでいます。家具の搬入や保育環境の整備、動線の確認など、実際の保育を想定した細かな調整が日々行われています。新しい空間の中で、子どもたちが安心して過ごせる環境をつくるため、職員同士で意見を出し合いながら準備を進めています。開園はまだ少し先ですが、すでに園には新しい空気が流れ始めています。子どもたちの笑顔があふれる日を楽しみに、準備はまだまだ続きます。